

市民ワークショップ 開催報告

無作為抽出 第2回

2026年9月5日



1. 実施概要

日時

- 2026年9月5日（土） 14：00～16：30

実施方法

- 対面でのワークショップ（会場：前橋市議会庁舎 2 階研修室）

参加者・グループ分け

- 17名を4グループに分けてグループ討議を実施

プログラム

- 開会
- 市長あいさつ
- ワーク① まえばしの未来をより良くするために何に取り組むべきか
- ワーク② 市民、企業・団体ができること、やりたいこと
- 発表・投票
- まとめ・閉会



みんなでつくる前橋の未来図 無作為抽出 第2回

1. 実施概要

20代から70代以上まで、市民17人が参加

17 人

実参加者数

参考：申込者数26人

参加者構成の特徴

- 60代・70代以上各4人
- 40代も4人参加
- 5つの年代区分
- 16の町名から参加

年代別



20～40代6人／50代以上11人

性別（申込時回答）



回答しない1人を含む

居住地・参加状況

居住地	16区分（町名）
参加者	17人
実施回	第2回

第2回から継続した参加者、年代の異なる市民が意見交換

- 第1回から17名が継続して参加し、前回議論した前橋市の将来像の実現に向けて、前橋の未来をより良くするための具体的な取組を検討
- さらに、話し合った取組を踏まえ、市民一人ひとり、地域コミュニティ、企業・団体のそれぞれの立場から、できること、やりたいこと、取り組むべきことを議論
- 投票では、「農業の促進」「子どもが集まる場所の拡大・子育ての負担軽減・小中一貫校、中等教育学校の実現」「高齢者と子どもの一体的な見守り」などの取組が多く票を集めた
- これらの取組に関して、各主体が取り組む具体的な行動に次のような提案があった。
 - ・市民…地元農産物の購入、市政に関心を持つ、世代間交流
 - ・地域コミュニティ…マルシェの実施、コミュニティ間の対話の促進、
 デイサービスと学童の一体化
 - ・企業・団体…前橋ブランドの開発、学校・自治会での農業体験、学校統廃合を
踏まえた教育の検討、保護者への丁寧な説明、保育料の引下げ

2. ワーク①のまとめ

まえばしの未来をより良くするために何に取り組むべきか（その1）

取組分野	主な取組		紐づく将来像
産業・雇用	- 大企業や工場を誘致する - 働ける企業や魅力的な職場を増やす - 業種を増やす	20～30代が働ける場所を増やす - 中途採用のネットワークをつくる - 雇用者の社会保険加入を徹底する	①、②、⑥
農業・農産物	- 農業体験ができる機会を増やす - 農業で生活できる環境を整備する - 農業人口を増やす	- 生産、加工、流通・飲食を市内で回す - 学校と農業を組み合わせ、子どもが農業に関わる機会をつくる - 野菜を首都圏に運ぶ特急を運行する	①、②、③、④、⑤、⑥
若者の活躍・挑戦	- 創業にチャレンジできる仕組みをつくる - 県外に出た若者が前橋に戻り、活躍できる環境をつくる - 空き店舗を若者に活用してもらう	- 企業と連携して子どもたちがチャレンジできる機会をつくる - 失敗を学びとする社会にする	②
交通	- 電車の本数を増やす - 新幹線を開通し、都心へ行きやすくする - 夜行列車を増やす - バス路線を見直し、新たな路線を開拓する - 前橋西側とけやきウォーク、IKEAを結ぶバスを運行する - 群馬全体にアクセスしやすいバスを運行する - 自動運転バスや小型モビリティを活用する	- 自転車レーン・自転車専用道路を整備する - 自動車と自転車、それぞれの走行ルートを整備する - 自転車シェアリング「cogbe」を増やす - 電気自転車の購入を補助する - 歩道を広くする - 歩道と車道を分ける - 道路の段差をなくす	⑤

2. ワーク①のまとめ

まえばしの未来をより良くするために何に取り組むべきか（その2）

取組分野	主な取組		紐づく将来像
教育・子育て	・中等教育を充実させる ・義務教育学校と公民館を同じ敷地につくる ・教員の研修や先進校への視察を行う ・市立図書館にカフェとTUMOを設ける	・託児所や学童を増やす ・不妊治療を無償化する ・子どもが集まり、楽しめる場所を増やす	②、③、⑥
医療・福祉	・教育と介護を両立した一体型施設をつくる ・医療施設を充実させる ・福祉につながりやすい仕組みをつくる	・一人になっても相談できる場所をつくる ・雇用を失っても生活できる仕組みをつくる ・医療・福祉など、生活への直接補助を行う	①、②、③、⑥
共生・多様性	・世代間交流を増やす ・外国人労働者にルールを周知し、言葉の壁をなくす ・相手の気持ちを考えるための研修を行う	・男性の育児休業などの制度を徹底する ・女性への理解を深める	①、③、④
土地・建物の活用	・空き家を活用する ・空き店舗を若者に活用してもらう	・閉校した小中学校を教育、起業、福祉に活用する ・交通アクセスの良い新しいエリアに新都市をつくる	①、②、③、⑥
前橋らしさ・市民参加	・前橋のシンボルをつくる ・「ころとん」をシンボルとして生かす ・前橋市だからこそのものをつくる	・市民が前橋に誇りを持ち、まちづくりに参加する ・市役所の情報公開を進める ・副首都に名乗りを上げる	④
防災・都市基盤	・災害被災者を収容できる施設をつくる ・上下水道の補修予算を増やす	・バイパスの排水整備や草刈りを行う	④、⑤、⑥

2. ワーク②のまとめ

市民、企業・団体ができること、やりたいこと（その1）

取組分野	市民一人ひとり	地域コミュニティ	企業・団体
産業・雇用	・できる限り働き続ける ・行政や企業に働きかける	・行政に企業誘致を働きかける ・若者や転入者が参加したくなる雰囲気をつくる	・県や大学と連携して企業を誘致する ・若者の雇用を促進する ・給料を上げる ・雇用を創出する
農業・農産物	・地元の野菜を購入する ・農地を貸す ・前橋ブランドの店を利用する	・農業法人の多様化を進める	・総合的な学習の時間に特産物づくりを行う
若者の活躍・挑戦	・新しいことにチャレンジする ・社会実験に参加する ・失敗を学びと捉える ・自ら関わり、傍観者にならない	・地域の店を利用する ・自治会や地域活動に参加する	・子どもが関われるイベントを開く ・大学生が出店できる機会をつくる ・精神面を支える機関を設ける ・企業間のネットワークをつくる
交通	・なるべく公共交通を利用する ・交通ルールを守る ・自転車専用道路を走る	・自転車専用道路の利用を呼びかける	・鉄道やバスの便数を維持する ・自転車が走りやすい道路を整備する ・車と自転車の通行路を分ける ・自動運転バスの実証実験を行う ・運行会社と市民の対話の場をつくる

2. ワーク②のまとめ

市民、企業・団体ができること、やりたいこと（その2）

取組分野	市民一人ひとり	地域コミュニティ	企業・団体
教育・子育て	- 中高生の頃から市政に関心を持つ - 子育て・教育施設を利用する	- 地域で子どもを見守る - 学童保育や育成会を充実させる - 学校の空き教室を活用する - 世代間交流の場をつくる	- 学校統廃合を生かして教育を考える - 不妊治療の専門クリニックをつくる - 放課後等デイサービスや学童を支える事業を行う
医療・福祉	施設や地域サロンを利用する	- 地域で見守る - 包括的な地域サロンを増やす - 支援につながる体制を充実させる	- 子育て・介護を支える施設を設ける - 精神面を支える機関を設ける
共生・多様性	- 異なる世代や外国人との交流を深める - 子どもの頃から共生を体験する - 自治会や地域活動に参加する	- 全世代・外国人との交流を進める - 子ども会や老人会に参加する - 古いコミュニティと新しいコミュニティが対話できる制度をつくる - 見守りを充実させる	- 企業内で共生を進める - 地域コミュニティと協働する
土地・建物の活用	登記・相続の手続きを行う	- 学校の空き教室を活用する - 地域で空き店舗を利用する	- 大学生が空き店舗等に出店する - 学校統廃合を生かした施設活用を進める

2. ワーク②のまとめ

市民、企業・団体ができること、やりたいこと（その3）

取組分野	市民一人ひとり	地域コミュニティ	企業・団体
前橋らしさ・市民参加	・タウンミーティングや市民議会に参加する ・市民として前橋に誇りを持つ ・市民が声を上げる ・SNSで情報を発信する・街中に足を運ぶ	・地域づくりのためのクラウドファンディングを行う ・世代間交流や地域行事を充実させる ・市民が直接参加できる場をつくる	・全国に発信するイベントやSNS、メディアとのコラボを行う ・前橋発の新しいもの、優れたものをつくる ・協賛により街を盛り上げる ・企業と連携して地域づくりを進める
防災・都市基盤	・景観を維持する ・ごみのないまちづくりに参加する	・自治会活動を通じてごみのないまちをつくる ・地域の環境整備に関わる	・景観の維持・存続に取り組む

4. ワークのとりまとめ

将来像の実現に向けた取組と各主体ができること（投票上位5位まで）

取組により 実現を目指す将来像	取組の内容	各主体が取り組むこと			投票数
		市民	地域コミュニティ	企業・団体	
④前橋ファンから 前橋プライド	・ 農業の促進	・ 地元の野菜等の購入	・ マルシェ	・ 農業法人 ・ 前橋ブランドの開発 ・ 学校・自治会で体験	10
③教育と福祉が充実 しているまち ⑥未来への投資	・ 子どもが集まる場所の拡大 ・ 子育ての負担軽減 ・ 小中一貫校、中等教育学校 の実現	・ 市政に興味を持つ	・ 古いコミュニティと新 しいコミュニティとの 対話を出来る制度が必要	・ 学校統廃合の時代を生 かした教育を考える ・ 保護者への丁寧な説明	9
・ 子育てと介護の 包括的な支援	・ 高齢者と子どもの一体的な 見守り	・ 世代間交流	・ デイサービスと学童の 一体化	・ 保育料の引き下げ	7
・ 夢を追いかけられ る街	・ 失敗を学びとするまち ・ 農業のできる環境整備	・ 失敗から学ぶ ・ 自ら関わる ・ ネガティブにならない	・ 農業法人の多様化	・ 企業誘致 ・ 企業間ネット	7
⑤日本一交通事故が 少ない、交通イン フラが充実したま ち	・ アクセスしやすいバスの運 行 ・ 車と自転車それぞれのレー ン整備 ・ 自動運転バスの実現	・ 公共交通を積極的に利 用します	・ 道路の整備に参加する 〈草刈り・花だん〉	・ 企業とタイアップした 自動運転バスの実証実 験をする、公共交通を 活用できる使いやすい アプリ	5

4. ワークのとりまとめ

将来像の実現に向けた取組と各主体ができること（その他）

取組により 実現を目指す将来像	取組の内容	各主体が取り組むこと		
		市民	地域コミュニティ	企業・団体
・ 交通網の利便性を高める	・ 交通機関の死守	・ 公共交通機関をなるべく使う	・ 乗車体験会の実施	・ 便数を減らさない
⑤日本一交通事故が少ない、交通インフラが充実したまち	・ 公共交通の充実	・ バス・電車の利用	・ バス停に憩いの場→コミュニティ化	・ 自動運転バスの導入
①安心して働けるまち	・ 企業を誘致する ・ 法律・ルールを守る ・ 外国人との共生を図る ・ 他者を思いやる	・ 交流を深める	・ 子どもの頃からの共生体験をする	・ 企業内の共生を進める ・ サポート体制の充実
・ 子どもとともに「めぶく」街	・ 不妊治療の無償化 ・ 子どもと若者が住みたいまち ・ 世代間交流	・ 市民としての誇り ・ 街中へ足を運ぶ、声を上げる	・ 世代間交流のまちづくり	・ 不妊治療専門のクリニックを作る
・ 雇用の安定	・ 大企業の誘致	・ 雇用に対する情報収集	・ 地域PRを企業に対して発信	・ 企業誘致を働きかける
・ 前橋プライドが輝く街	・ 市民としての誇りを持った市民参加 ・ 前橋のシンボル	・ 市民としての誇り	・ 企業とつながったまちづくり	・ 市の市民への承認
②チャレンジできるまち	・ 空き家の活用	・ 登記・相続の徹底	・ 地域での活用	・ NPO、大学等の活用

5. グラフィックレコーディング



5. グラフィックレコーディング



5. グラフィックレコーディング



5. グラフィックレコーディング

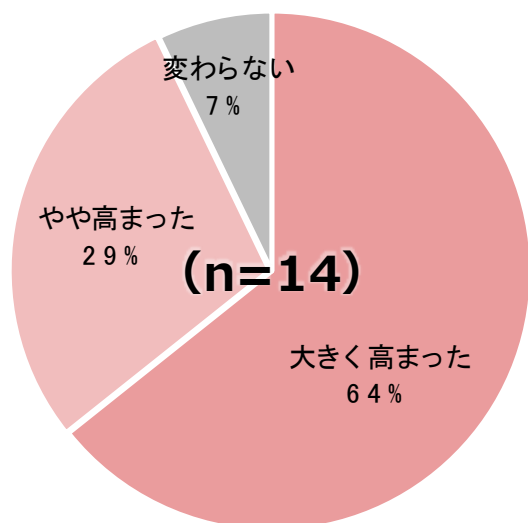


6. 参加者アンケート結果

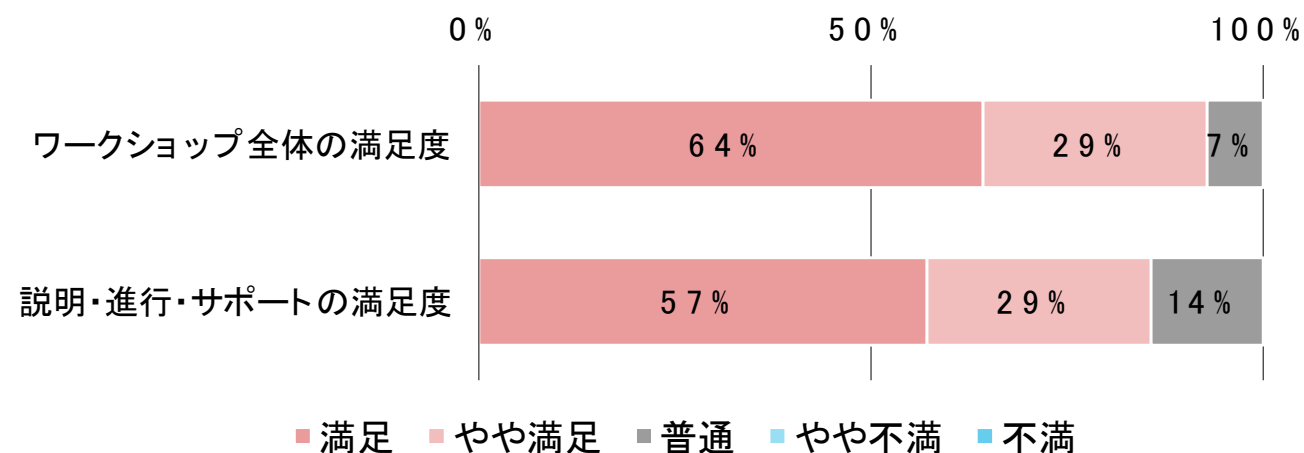
アンケートの実施概要

期間	9月5日～9月11日
実施方法	ワークショップ当日にアンケート用紙を配布するとともに、二次元コード及びURLを掲載し、オンライン（Microsoft Forms）での回答も可能とした
回答件数	14件（回収率：82.4%）

市政やまちづくりに対する興味・関心の変化



ワークショップの満足度（n=14）



みんなで作る前橋の未来図 無作為抽出 第2回

(参考資料) 各グループの討議結果

グループA 模造紙



グループA とりまとめシート

グループ名: グループA

取り組みにより実現を目指す将来像	取り組みの内容	各主体が取り組むこと			投票欄
		市民	地域コミュニティ	企業・団体	
雇用の安定	大企業の誘致	雇用に対する情報収集	地域PRを企業に対して発信	企業誘致を働きかける	●
交通網の利便性を高める	交通機関の充実	公共交通機関をなるべく使う	乗車体験会の実施	便数を減らさない	●●●
子育て支援の包括的な支援	高齢者と子どもの一体的な見守り	世代間交流	ダイバーシティと学童の一体化	保育料の引き下げ	●●●● 7

みんなで作る前橋の未来図 無作為抽出 第2回

(参考資料) 各グループの討議結果

グループB 模造紙



グループB とりまとめシート

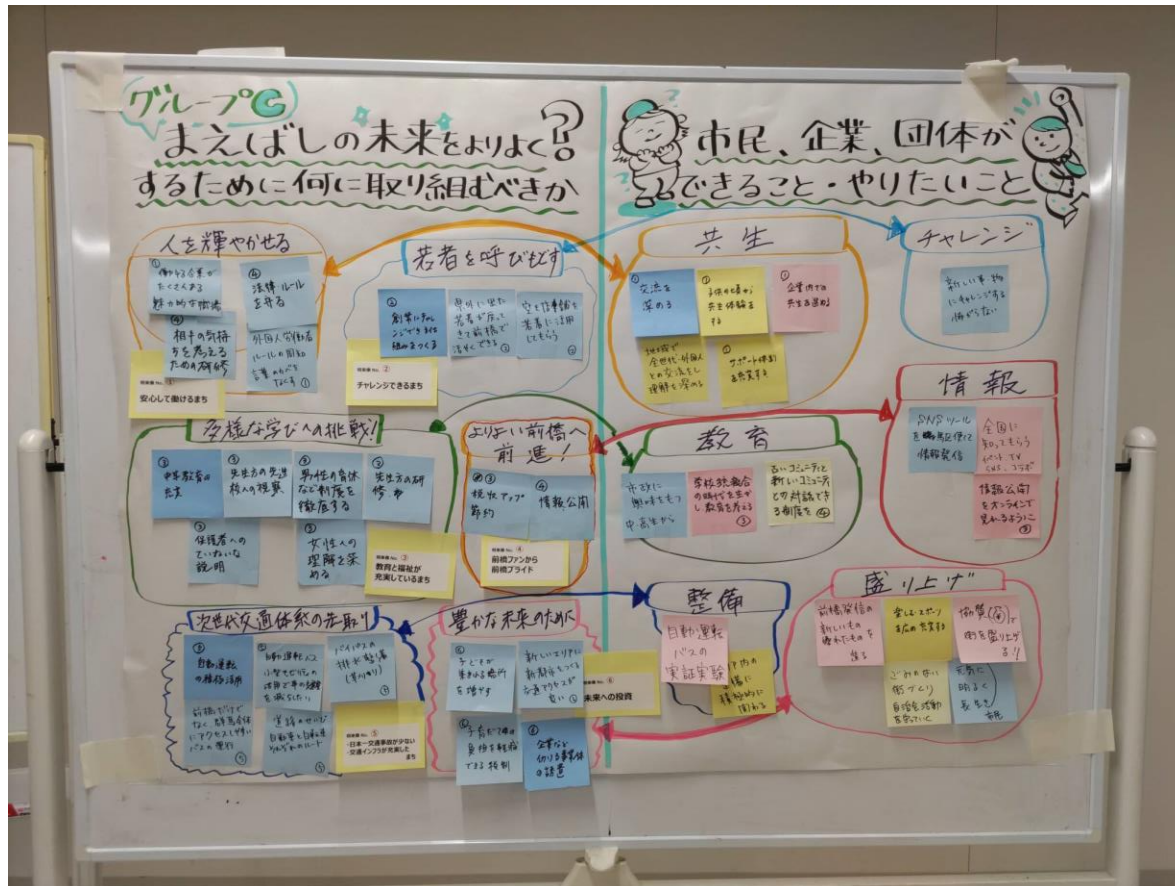
グループ名: B

取り組みにより実現を目指す将来像	取り組みの内容	各主体が取り組むこと			投票欄
		市民	地域コミュニティ	企業・団体	
空き家の活用	登記・相続の徹底	登記・相続の徹底	地域での活用	NPO、大学等の活用	
農業の促進	地元の野菜等の購入	マルシェ	農業法人	前橋ブランドの開発	10
公共交通の充実	バス・電車の利用	バス停に憩いの場 →コミュニティ化	自動運転バスの導入	学校・自治会で体験	

みんなでつくる前橋の未来図 無作為抽出 第2回

(参考資料) 各グループの討議結果

グループC 模造紙



グループC とりまとめシート

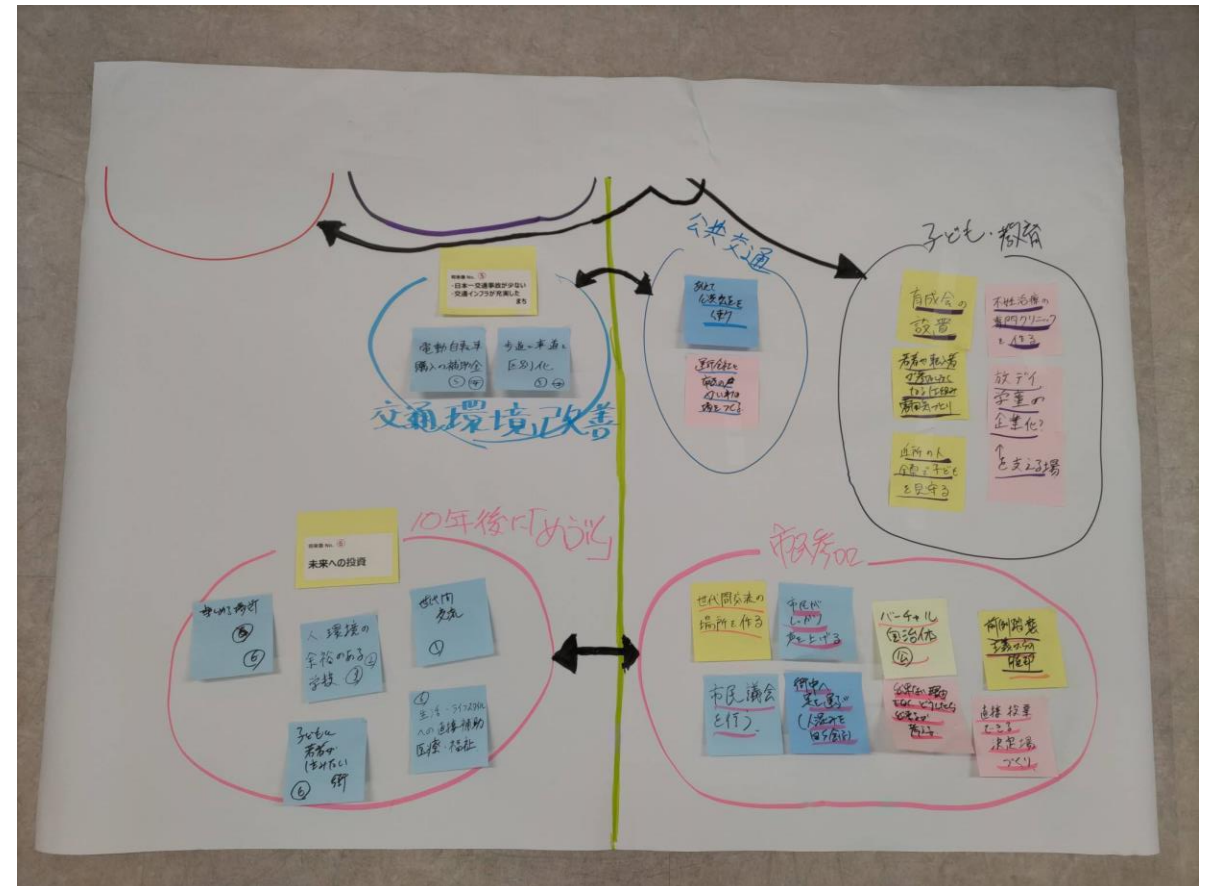
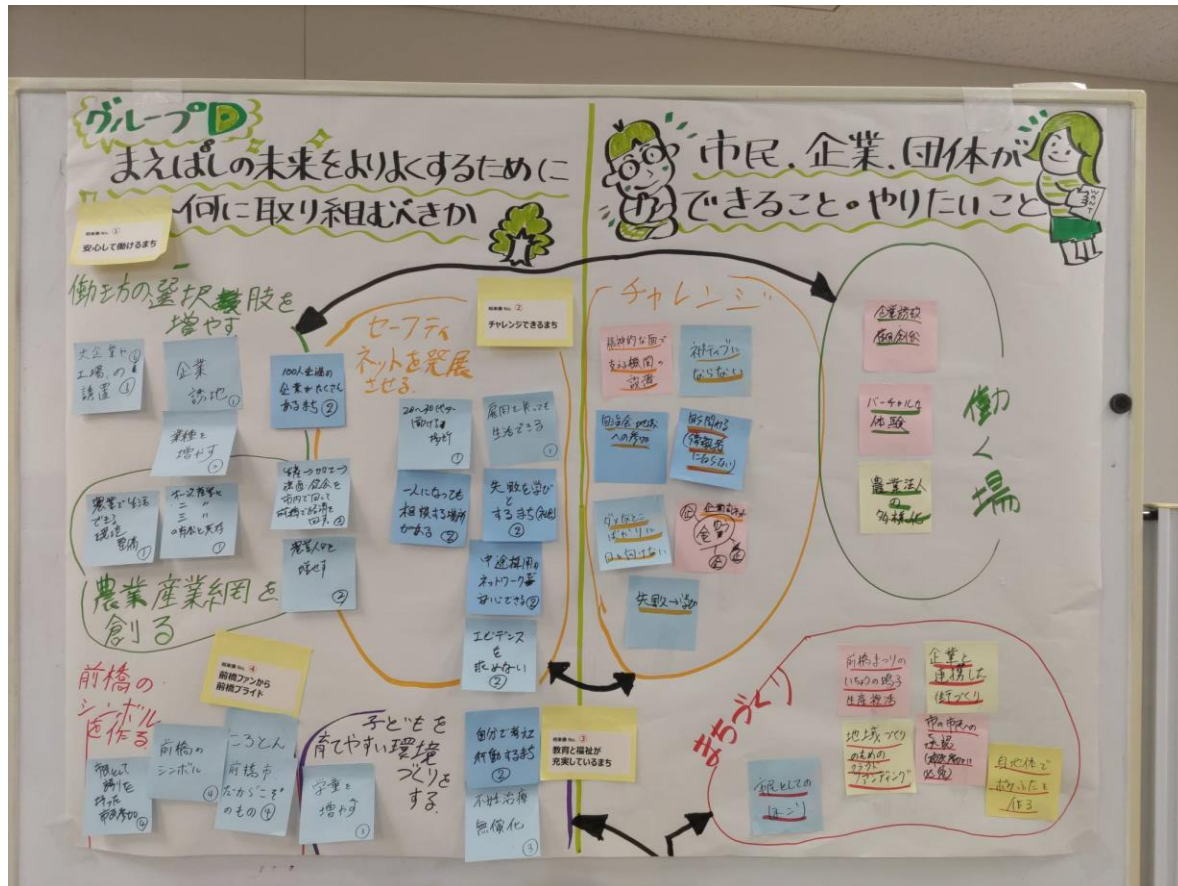
グループ名: C

取り組みにより実現を目指す将来像	取り組みの内容	各主体が取り組むこと			投票欄
		市民	地域コミュニティ	企業・団体	
安心して働けるまち	企業を誘致する。 法律・ルールを守る 外国人との共生を図る 他者を思いやる	交流を深める	子どもの頃からの共生体意識を育てる	企業内の共生を進める。 サポート体制の充実	●●
国・県・市・町・村・区・市町村が連携して取り組む	アクセスしやすいバスの運行 車と自転車それぞれのレーン整備 自動運転バスの実現	公共交通を積極的に利用	道路整備に参加する <車線・花だん>	企業とタイアップした自動運転バスの実証実験をする 公共交通を活用できる使いやすいアプリ	●●●●●
未来への投資	子どもが集まる場所の拡大 子育て負担軽減 小中一貫校、中等教育学校の実現	市政に興味を持つ	よいコミュニティと新しいコミュニティの対話を始める制度が必要	学校統合の時代を生かした教育を考える 保護者の役割の再考	●●●●●

みんなで作る前橋の未来図 無作為抽出 第2回

(参考資料) 各グループの討議結果

グループD 模造紙



(参考資料) 各グループの討議結果

グループD とりまとめシート

グループ名: DE

取り組みにより実現を目指す将来像	取り組みの内容	各主体が取り組むこと			投票欄
		市民	地域 コミュニティ	企業・団体 (関係機関)	
夢を追いかける街	失敗と学びとまちづくりの整理を準備	失敗から学ぶ 自ら関わる ネットワーキングにならない	農業法人の多様化	企業誘致 企業間ネット	7
子どもとともに「めぶく」街	不妊治療の無償化 子どもと若者が住みやすいまち 世代間交流	市民としての誇り 街中へ足を運び 声を上げる	世代間交流の まちづくり	不妊治療専門の クリニックを作る	2
前橋プラウドが光輝く街	根としての誇りを持つ 市民参加 前橋のシンボル?	市民としての誇り	企業とつながる まちづくり	市の市民への承認	1